

まちの話題

このコーナーでは、イベントやまちの話題、団体の活動などを紹介しています。耳寄りな情報は秘書広報課まで(市役所内線207)。

紙面に載せきれないまちの話題がどんどん届きます。西脇市 facebook で情報発信中!

二十歳の門出―復興支援の募金活動を実施

〔1月11日／アピカホール・西脇ロイヤルホテル〕



二十歳の誓いを述べる大江隆義さん(左上)と藤原鈴さん(左下)
右) 同級生との再会を喜ぶ新成人たち

平成27年西脇市成人式が開催され、436人(男性211人、女性225人)が新たに大人の仲間入りをしました。

成人式は、市内4中学校出身の新成人8人が中心となって「成人式運営委員会」で内容を企画。第一部の記念式典では、阪神淡路大震災などの犠牲者に黙とうを捧げた後、運営委員長の東原右裕さんが「これからは社会人の一員としての自覚を持ち、日々前進したい」とあいさつしました。また、新成人を代表して、大江隆義さんと藤原鈴さんが「未来への希望を持ち、笑顔を忘れずに頑張りたい」と二十歳の決意を述べました。

第二部は同窓会。懐かしい友人との再会や、中学時代の恩師が登場するビデオレターに、大いに盛り上がりました。会場では、震災復興支援を目的として、募金活動も行われました。

1・17を忘れない―阪神淡路大震災から20年

〔1月14日／西脇東中学校〕



左) 防災ヘリの説明を聞く生徒たち 右上) 逃げ遅れた生徒の救助訓練
右下) 消火器の使用法を学ぶ生徒たち

西脇消防署と兵庫県消防防災航空隊の合同訓練が、西脇東中学校の防災訓練と1・17追悼集会を兼ねて行われました。

御所谷断層を震源に震度6弱の地震が発生、家庭科室から出火し、数名の負傷者と逃げ遅れがあると想定で訓練は開始。現場に駆けつけた消防隊が消火活動を実施するとともに、救助隊が逃げ遅れた生徒を救出しました。また、防災ヘリが屋上から負傷者を救出し、救急隊に負傷者を引き渡しました。

生徒たちは、教室などから体育館前に避難した後、消火器を使用して訓練を体験、グラウンドで防災ヘリを見学しました。訓練終了後には体育館で震災犠牲者の追悼集会を開催。阪神淡路大震災の救援活動のために被災地へ赴いた西脇消防署救助隊員の講話を聞くなどし、地震の恐ろしさや被害の大きさについて学びました。

第7回「帰郷～ふるさとDE語る～」

〔12月26日／西脇南中学校〕



子どもたちを指導する柳田殖生さん

西脇市出身のプロ野球選手、柳田殖生さん(横浜DeNAベイスターズ)の講演会に市内外の子どもたち約150人が参加。子どもたちはあこがれのプロ野球選手の言葉に熱心に聴き入っていました。また、キャッチボールや守備の指導を受け「今後の練習に生かしたい」と大喜びでした。

新春恒例の書き初め大会

〔1月10日／旧来住家住宅〕



思いを込めて筆を走らせる子どもたち

まちづくり団体「西脇TMO」主催の新春書き初め大会に、市内の子どもたち57人が参加しました。学年ごとの「ふじ」「初日の出」など課題に、子どもたちは伸び伸びと筆を走らせました。また、参加者には、西脇北高校ボランティア部の生徒たちから焼き芋が振舞われました。

大粒のイチゴに大喜び―芳田小1年生

〔1月9日／篠田いちご園〕



イチゴをほお張る芳田小1年生の児童

芳田小1年生14人が明楽寺町の篠田いちご園に招待されイチゴ狩りを体験。児童らは大きく実った甘酸っぱいイチゴを次々とほお張りながら、「甘くておいしい」などと大喜びでした。中には30個以上食べた児童もあり、暖かいビニールハウスの中は歓声とイチゴの香りであふれました。

Photo Gallery

まちの話題や風景を写真で紹介



市民の皆さんが安心して新しい年を迎えられるよう、西脇市消防団が年末の午後8時から夜半にかけて年末警戒を実施。(12月28～30日、市内各所)



歳末恒例の喜多市と黒田庄地区まちづくり住民会議主催の「軽トラ市」が同時開催。年越し準備に多くの方が来場(12月25日、黒っこふれあい広場)



西脇ライオンズクラブの青少年短期交換留学制度を利用して、クローチアからアレクサンドラ・イグナトスキさんが片山市長を訪問(1月6日、西脇市役所)



「cool Japan cool Bansyuori」をテーマに、西脇高校生活情報科の皆さんによる「kawaii, cool」な播州織作品の展示(3月下旬まで、西脇市役所1階ロビー)